

**DMG森精機株式会社**

**2021年度上半期(1-6月)決算説明資料**

**2021年8月5日**

## 1. 上半期(1-6月)決算概要

## 2. 事業環境

## 3. 重点施策

- ① 工程集約、高効率生産による環境対応需要の取込
- ② 自動化・ターンキー促進
- ③ 供給体制の強化

## 4. サステナビリティ経営の進捗

- ① TCFD提言への賛同表明、太陽光発電の導入
- ② 健康経営

- ✓ 連結受注 2,184億円 (2020年H1比 61%増)
- ✓ 第2四半期(4-6月期)連結受注 1,170億円 (2020年2Q比 2.0倍、従来計画1,000億円)
- ✓ 機械本体の受注残高 1,420億円へ増加 (2020年末 960億円)
- ✓ 2021年12月期 年度業績予想再度増額
- ✓ 期末増配予定 年度一株配当30円(従来計画20円)、中間10円(従来通り)、期末20円(従来計画10円)
- ✓ CB 400億円調達：カーボンニュートラル加速、中国等での成長促進
- ✓ TCFD提言への賛同表明。気候関連財務情報の開示充実

## 2021年度 上半期決算概要

**DMG MORI**

- ・ 連結受注は、ほぼ2019年水準へ回復
- ・ 金融支出の減少、税率の正常化で当期利益大幅改善

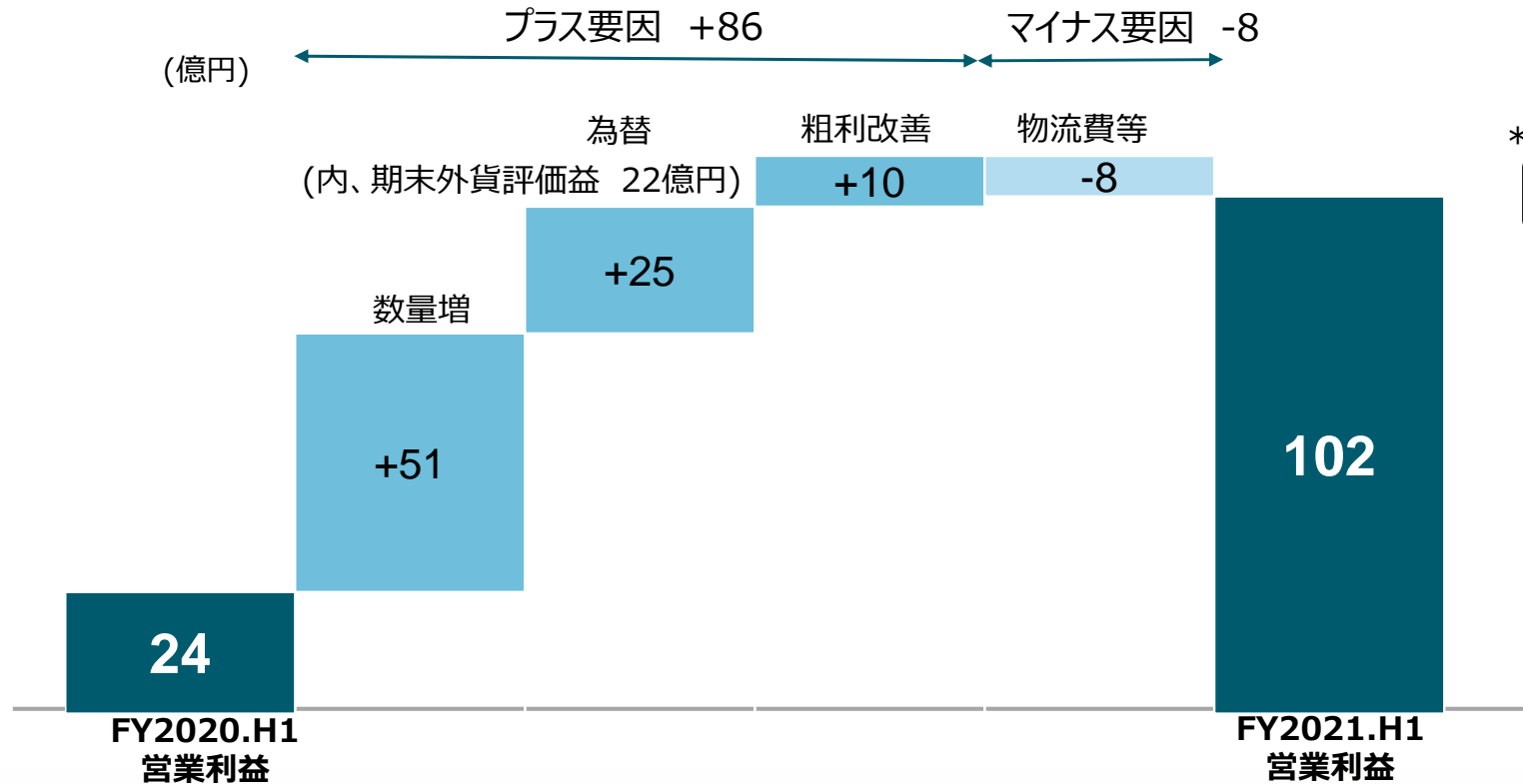
(億円)	2019年 1-6月	2020年 1-6月	2021年 1-6月	増減 (%)
<b>連結受注</b>	2,234	<b>1,355</b>	<b>2,184</b>	+61.2%
<b>売上収益</b>	2,386	<b>1,543</b>	<b>1,782</b>	+15.5%
<b>営業利益</b>	200	<b>24</b>	<b>102</b>	4.2倍
営業利益率	8.4%	1.6%	5.7%	
<b>金融収支</b>	-30	<b>-30</b>	<b>-16</b>	
(内、ドミネーション・アグリーメントに伴う経済補償額)	(-18)	<b>(-21)</b>	(-8)	
<b>税引前利益</b>	170	<b>-6</b>	<b>85</b>	黒字化
<b>親会社所有者帰属四半期利益</b>	107	<b>-22</b>	<b>61</b>	黒字化
ハイブリッド資本の所有者に帰属する利益	5	5	<b>11</b>	
普通株主帰属四半期利益	101	-27	<b>50</b>	
<b>基本的1株当たり四半期利益 (円)</b>	83.30	-21.87	<b>40.57</b>	
<b>中間配当金 (円/株)</b>	30	10	<b>10</b>	
償却費(リース含む)	108	<b>116</b>	<b>109</b>	
設備投資額	84	<b>70</b>	<b>76</b>	
USD/JPY	110.1	<b>108.3</b>	<b>107.7</b>	
EUR/JPY	124.3	<b>119.3</b>	<b>129.8</b>	

# 営業利益増減分析 2020年度上半期 vs 2021年度上半期

- 第2四半期(4-6月期)から数量増効果実現、2019年第1四半期以来9四半期振りプラス転換
- コスト管理の徹底

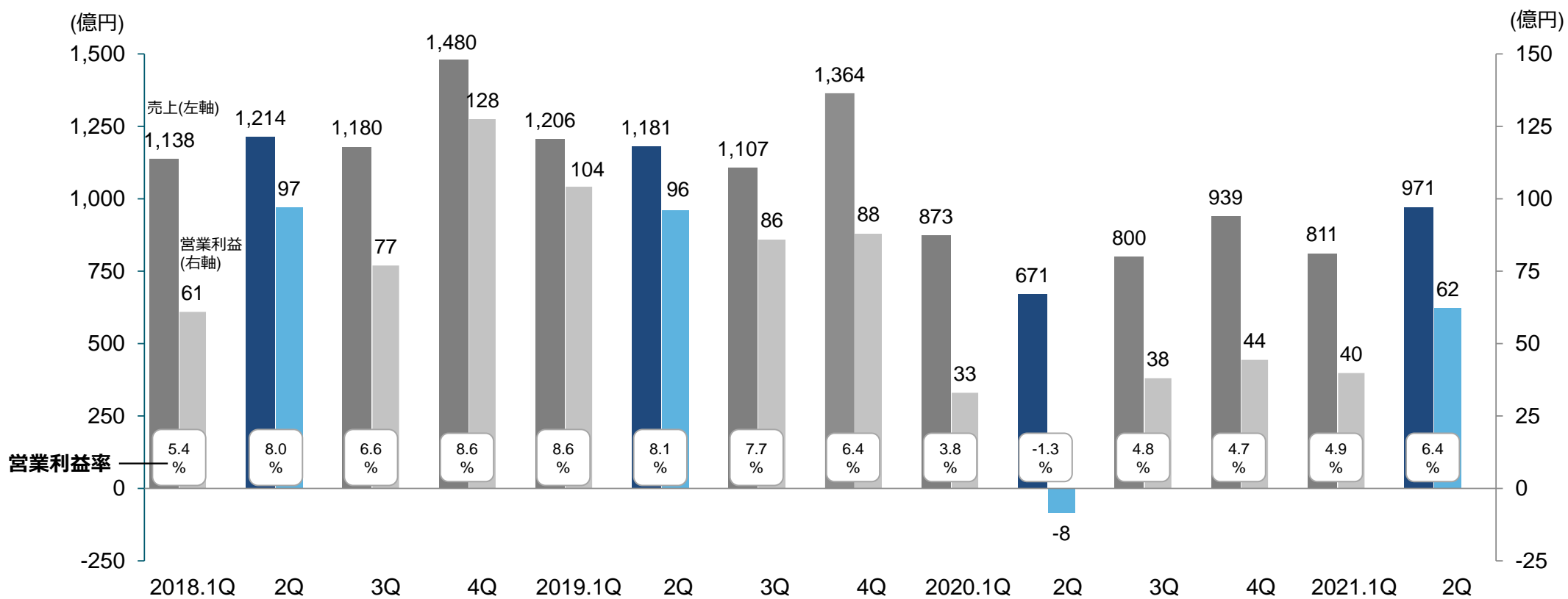
(億円)	FY2020H1	FY2021H1	増減
売上収益	1,543	1,782	239

為替レート：	USD/円	FY2020H1	FY2021H1
	EUR/円	108.3	107.7
		119.3	129.8



\* 人件費は実質増減 0  
 (ただし、対ユーロ円安により)  
 円換算額では26億円増)

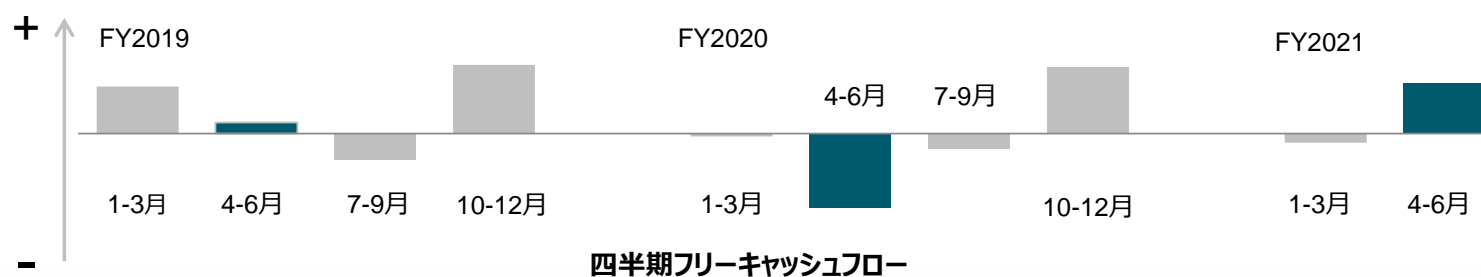
## ・ 四半期営業利益率改善基調



# キャッシュフロー

- ・ 収益の改善、前受金増により第2四半期フリーキャッシュフローは大きく改善
- ・ 年度フリーキャッシュフロー150億円以上見込む

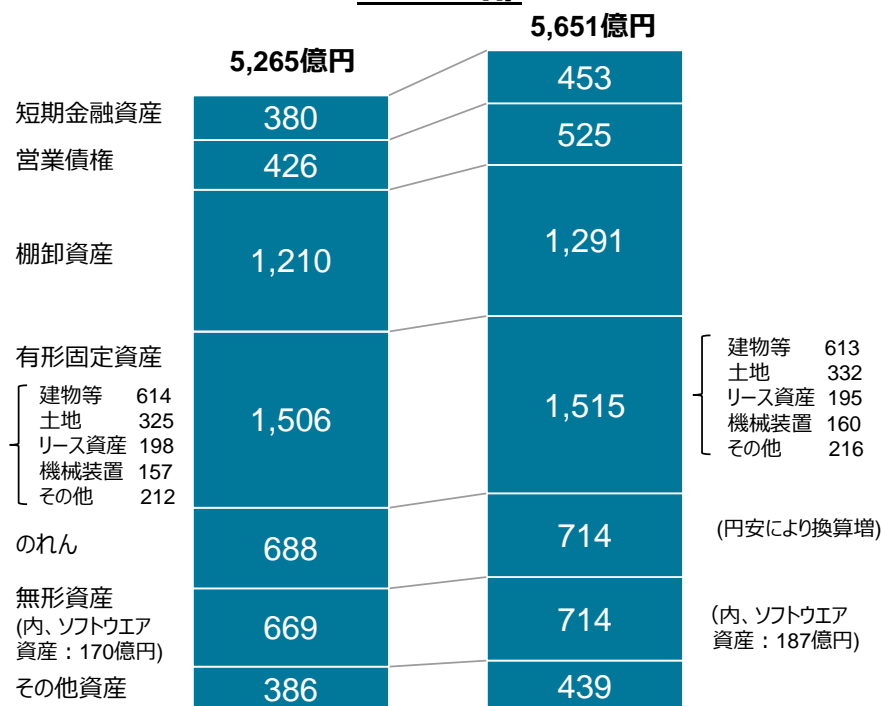
(億円)	2019					2020					2021			
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q		FY (計画)
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>130</b>	<b>38</b>	<b>43</b>	<b>225</b>	<b>436</b>	<b>25</b>	<b>-109</b>	<b>-5</b>	<b>226</b>	<b>136</b>	<b>26</b>	<b>134</b>		<b>300</b>
税引前四半期利益	88	82	71	74	315	13	-18	28	28	51	31	54		165
償却費	55	53	59	64	231	59	57	58	67	241	55	54		235
運転資本増減	35	-48	-51	22	-42	44	-106	-54	140	22	-35	53		30
その他	-48	-49	-36	65	-68	-90	-42	-37	-9	-178	-25	-27		-130
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b>-36</b>	<b>-16</b>	<b>-96</b>	<b>-87</b>	<b>-235</b>	<b>-31</b>	<b>-39</b>	<b>-25</b>	<b>-93</b>	<b>-189</b>	<b>-45</b>	<b>-34</b>		<b>-150</b>
(うち有形・無形資産取得支出)	-31	-53	-43	-85	-212	-29	-41	-35	-96	-201	-44	-31		
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>94</b>	<b>22</b>	<b>-52</b>	<b>137</b>	<b>201</b>	<b>-6</b>	<b>-149</b>	<b>-31</b>	<b>133</b>	<b>-52</b>	<b>-18</b>	<b>100</b>		<b>150</b>



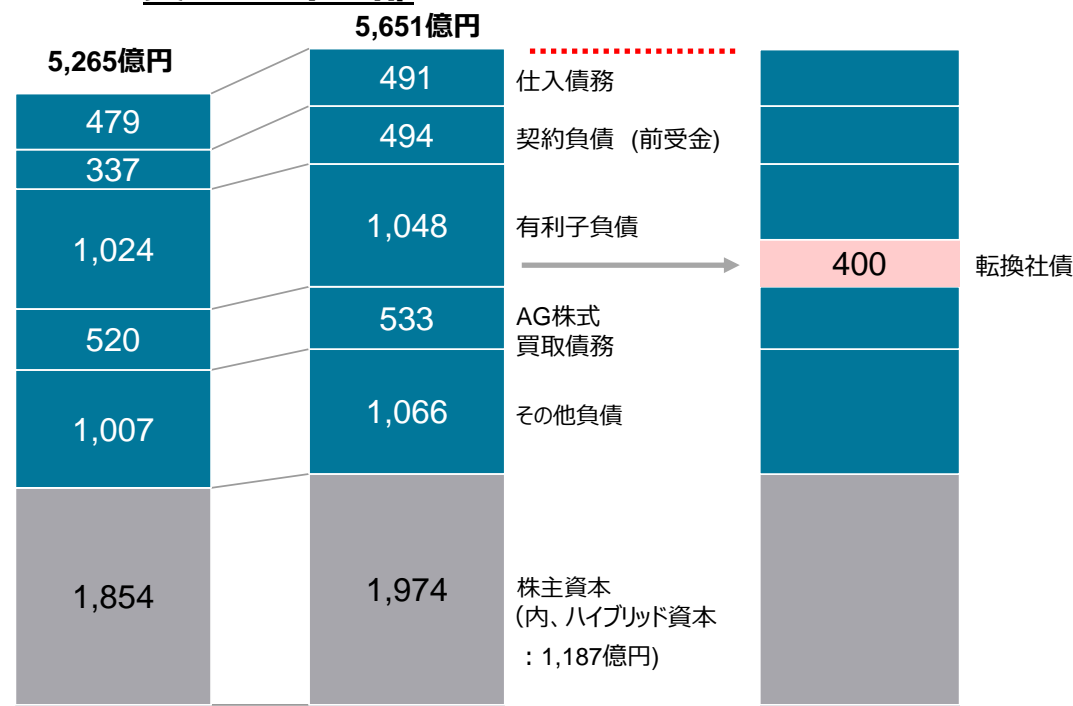
# 貸借対照表サマリー

- 受注増により前受金大幅増。純有利子負債は595億円と2020年12月末比49億円減
- 7月に400億円のCBを発行。7月末の財務構造は6月末並みを維持

## 資産の部



## 負債・資本の部



期末日レート (EUR / JPY)	127.0	131.6
--------------------	-------	-------

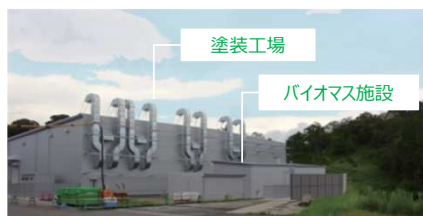
株主資本比率	35.2%	34.9%
Net D/Eレシオ	0.35	0.30



- 環境対応、中国での成長投資などに充当するため、転換社債型新株予約権付社債の発行により中長期性資金を拡充
- ハイブリッド資本最大300億円調達により今後の返済資金確保

① 転換社債型新株予約権付社債**400億円**の発行（7月16日）  
 転換価額 2,593円（2021年6月30日終値：1,994円/アップ率：30.04%）  
 償還期限 2024年7月16日

➤ 環境対応、生産性向上のための設備投資：約**300億円**



バイオマス発電設備+太陽光発電設置  
 （伊賀事業所）70億円



奈良商品開発センター  
 70億円



グリーン鋳物生産  
 （渡部製鋼所）40億円

他、ERPシステムなど 120億円

➤ 成長市場への投資：約**100億円**



中国5軸機工場新設  
 （平湖）50億円



天津工場拡張  
 40億円



エジプト生産拠点新設  
 10億円

② 永久劣後債最大**300億円**調達を予定（9月2日まで）

➤ 第1回永久劣後債任意償還：**100億円**  
 （起債 2016年9月/ 2021年9月2日～任意償還可能）

➤ ローン返済：**200億円**

## 2021年12月期 通期予想

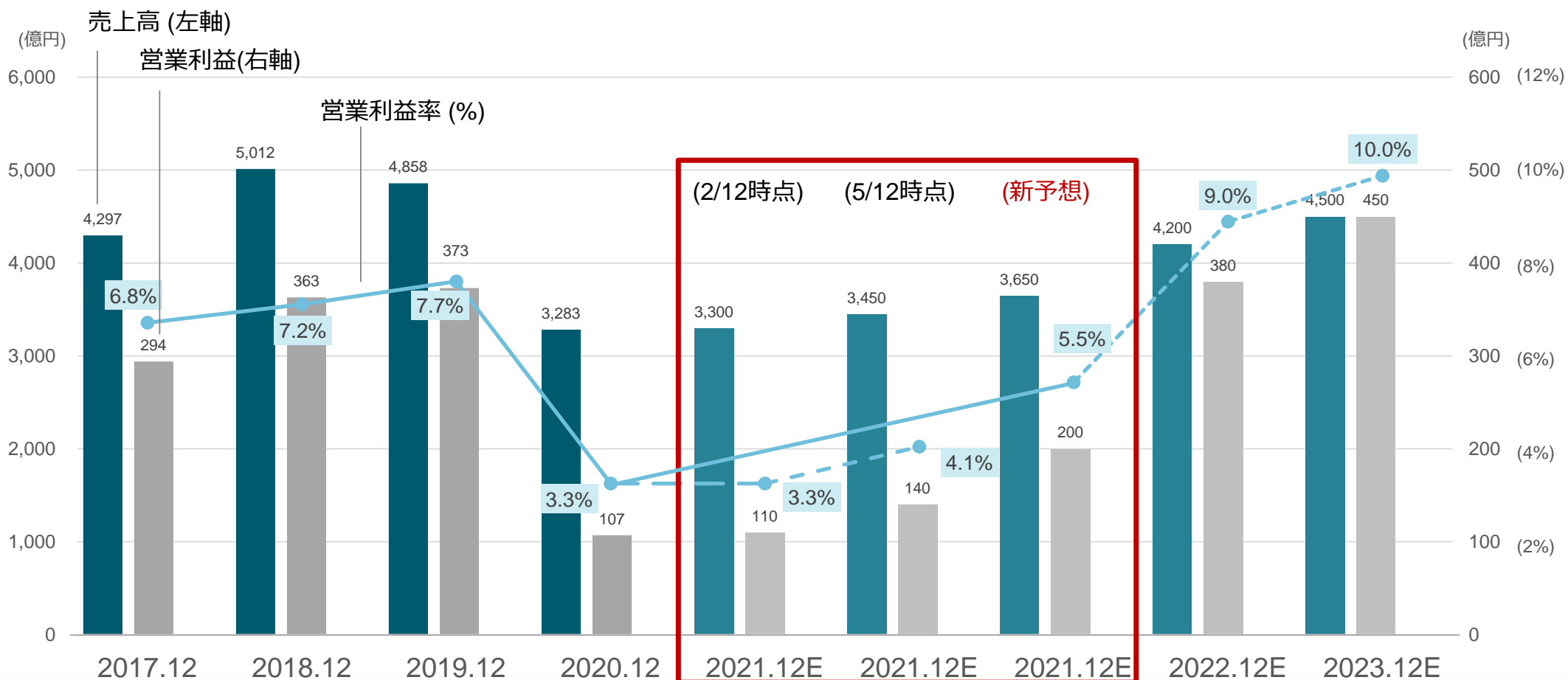
**DMG MORI**

- 年度受注計画は前年度比50%増の4,200億円程度へ再度増額。2019年度水準を上回る計画
- 第2四半期の受注増から年度売上、利益計画も再度増額

(億円)	2019年 実績	2020年 実績	2021年計画			
			(新)	YoY (%)	(5/12公表)	修正額
連結受注	4,094	2,797	<b>4,200程度</b>	+50.2%	<b>4,000程度</b>	+200
売上収益	4,858	3,283	<b>3,650</b>	+11.2%	<b>3,450</b>	+200
営業利益	373	107	<b>200</b>	+87.4%	<b>140</b>	+60
営業利益率	7.7%	3.3%	5.5%		4.1%	
金融収支	-59	-56	<b>-35</b>	-	<b>-45</b>	
(内、ドミネーション・アグリーメントに伴う経済補償額)	(-35)	(-30)	(-20)		(-20)	
税引前利益	315	51	<b>165</b>	3.2倍	<b>95</b>	+70
親会社所有者帰属利益	180	17	<b>110</b>	6.3倍	<b>60</b>	
ハイブリッド資本の所有者に帰属する利益	11	13	<b>21</b>		<b>21</b>	-
普通株主帰属利益	169	4	<b>89</b>		<b>39</b>	+49
基本的1株当たり当期利益 (円)	138.64	3.40	<b>71.32</b>		<b>31.15</b>	
配当金 (円/一株)	60	20	<b>30</b> <small>(中間:10円, 期末:20円)</small>		<b>20</b>	
償却費(リース含む)	231	241	<b>235</b>		<b>235</b>	
設備投資額	212	201	<b>150</b>		<b>150</b>	
USD/JPY	109.1	106.8	<b>106</b>	(下期105)	<b>105</b>	
EUR/JPY	122.1	121.8	<b>127</b>	(下期125)	<b>125</b>	

# 中期収益見通し

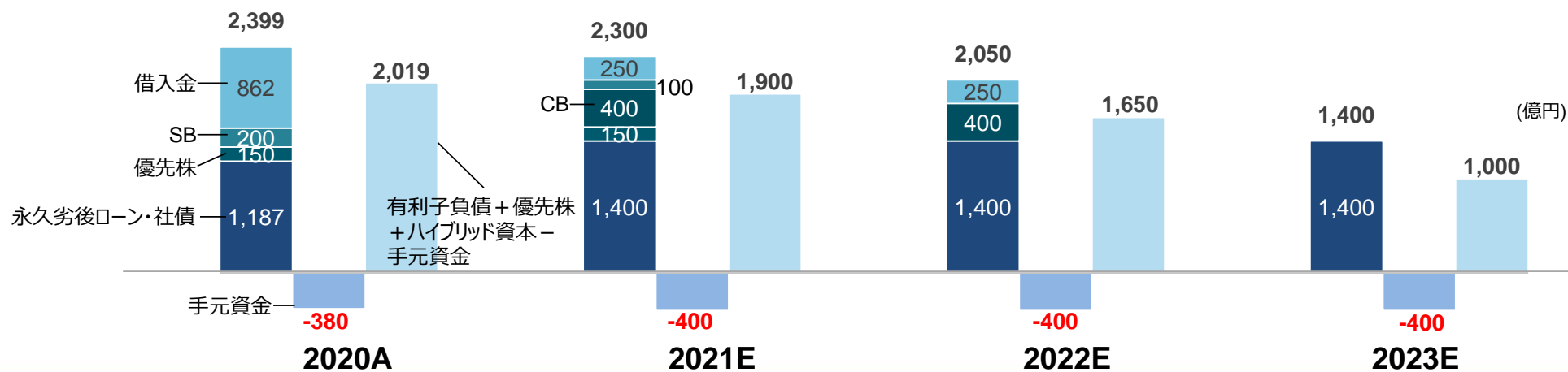
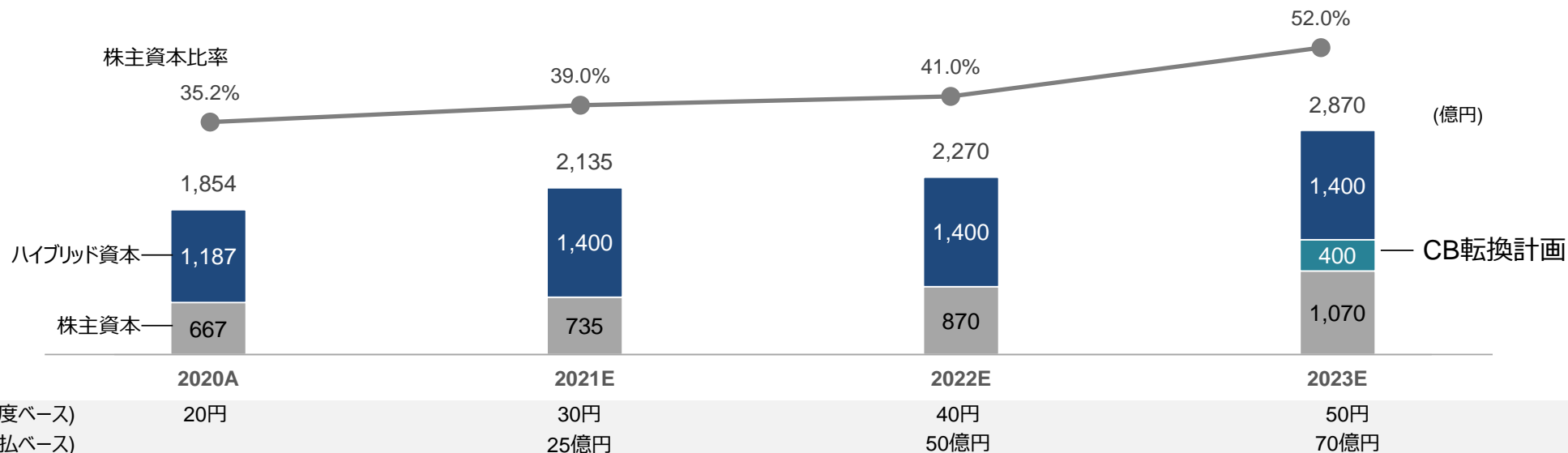
- 2022年12月期 2019年12月期のピーク営業利益更新計画
- 2023年12月期 営業利益率10%以上目指す



# 2023年 財務ターゲット

**DMG MORI**

・ 2023年末までに有利子負債ゼロ、株主資本比率50%超を計画



## 1. 上半期(1-6月)決算概要

## 2. 事業環境

## 3. 重点施策

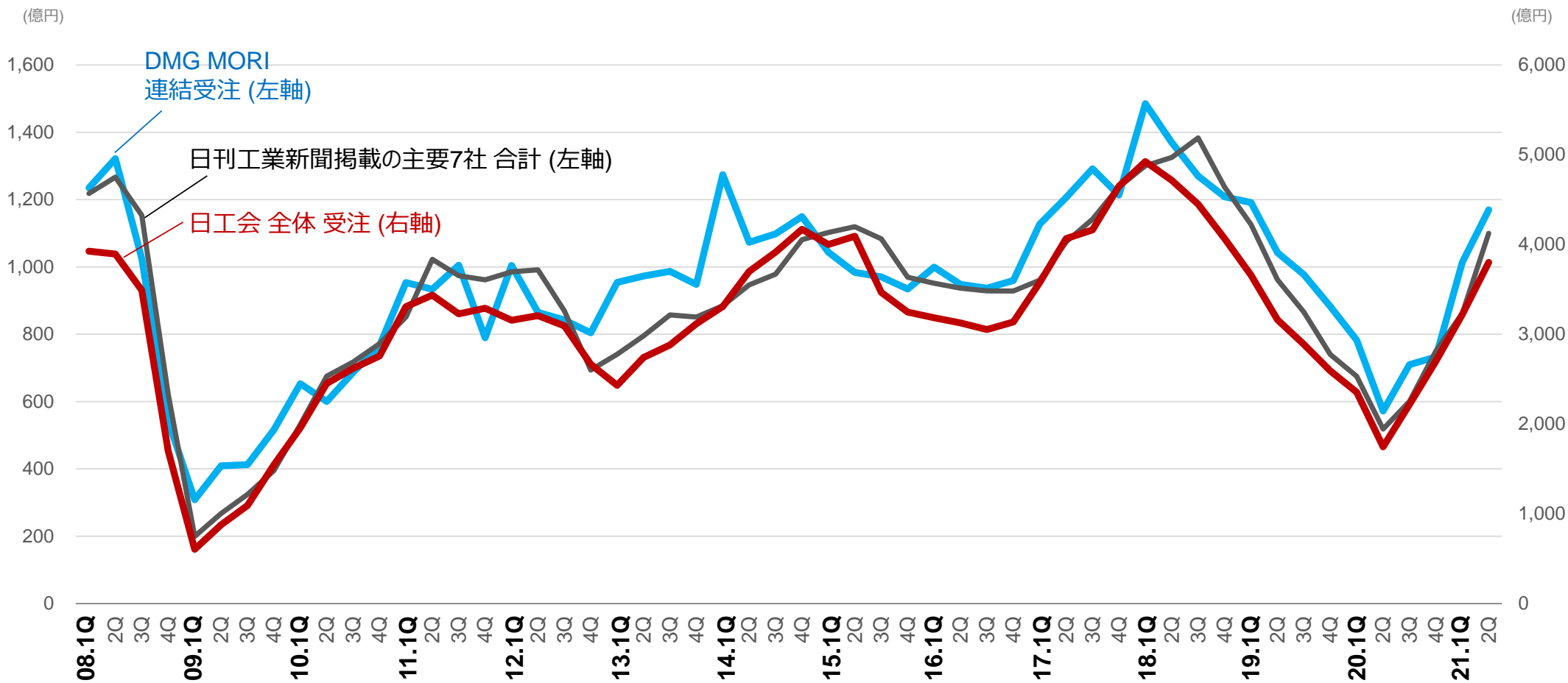
- ① 工程集約、高効率生産による環境対応需要の取込
- ② 自動化・ターンキー促進
- ③ 供給体制の強化

## 4. サステナビリティ経営の進捗

- ① TCFD提言への賛同表明、太陽光発電の導入
- ② 健康経営

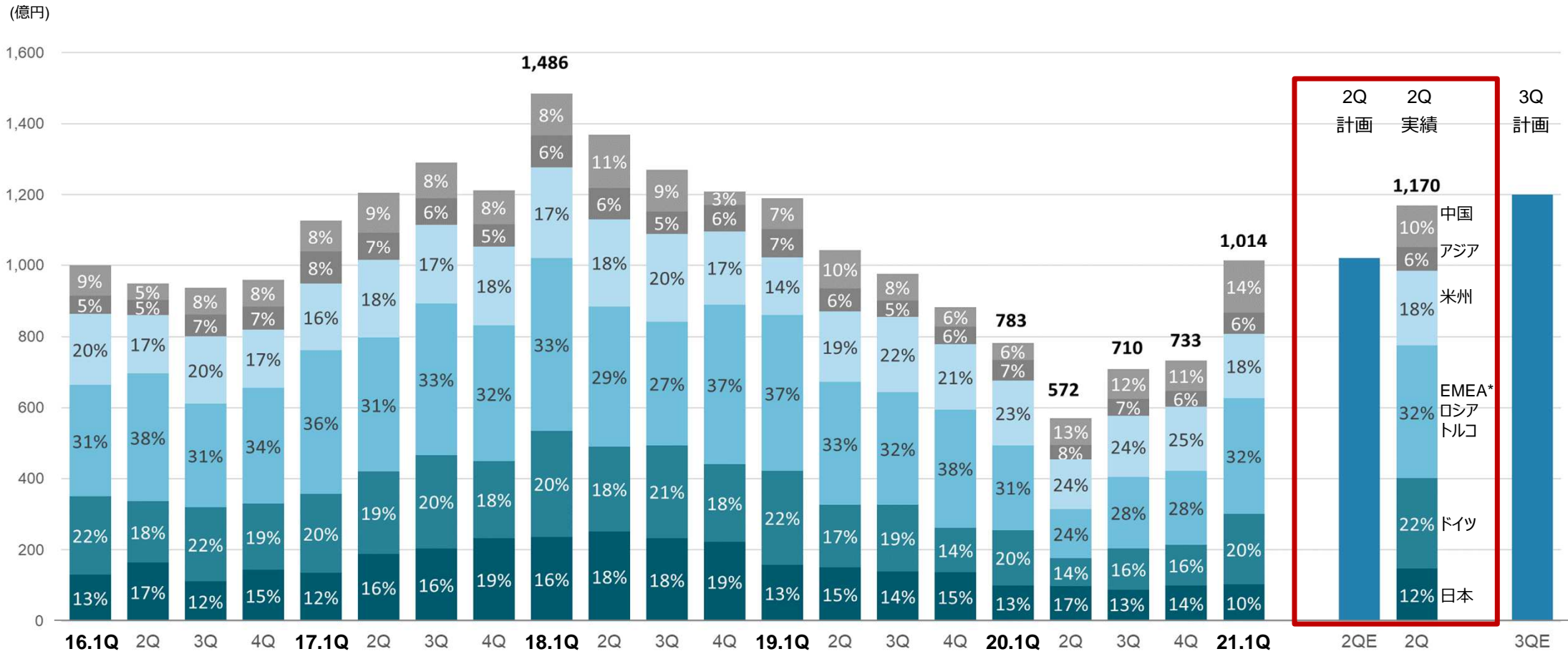
# 連結受注 vs 日本工作機械工業会（JMTBA）受注推移

- 民間航空機、エネルギー部門を除く全産業の需要回復
- EMEA(全社受注50%強を占める)の受注増が寄与



# 地域別受注構成 (連結受注)

- 第2四半期受注は、計画1,000億円強を上回る1,170億円
- 第3四半期受注も好調持続する見込み

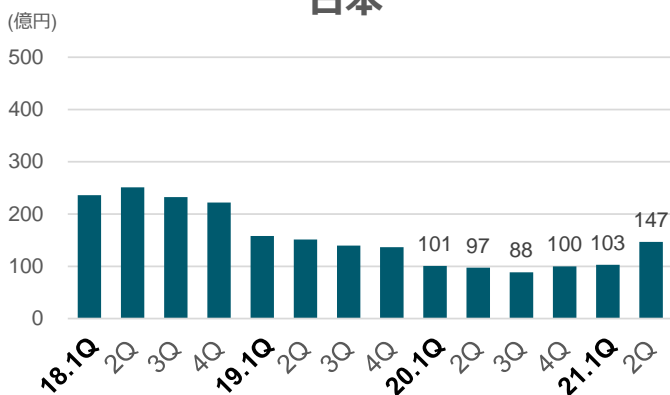


\*Europe, the Middle East and Africa

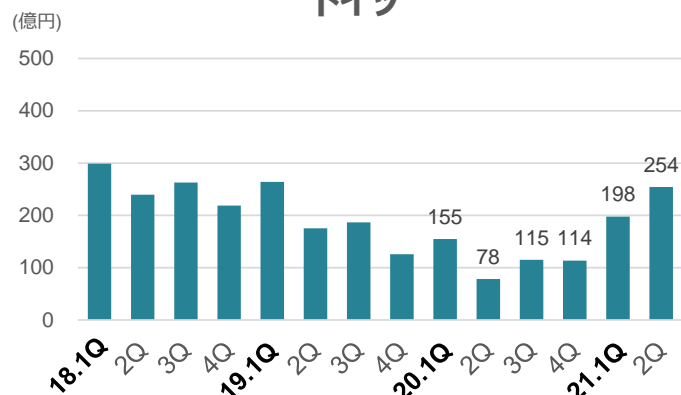
# 地域別受注推移

- ドイツ、EMEA好調持続。日本、米州も回復
- 中国は、第1四半期に計上した大型プロジェクトの反動減あり。事業環境に変化なし

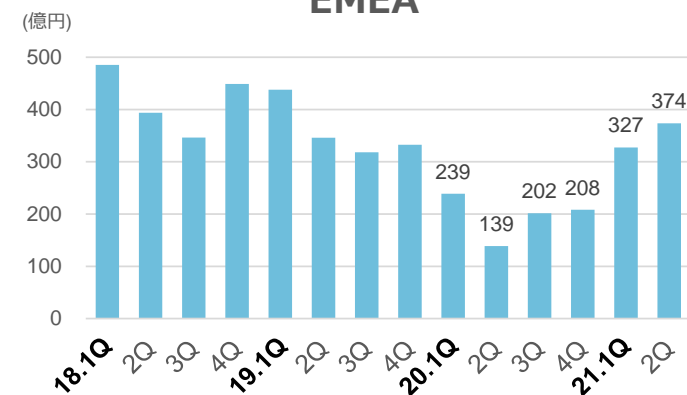
### 日本



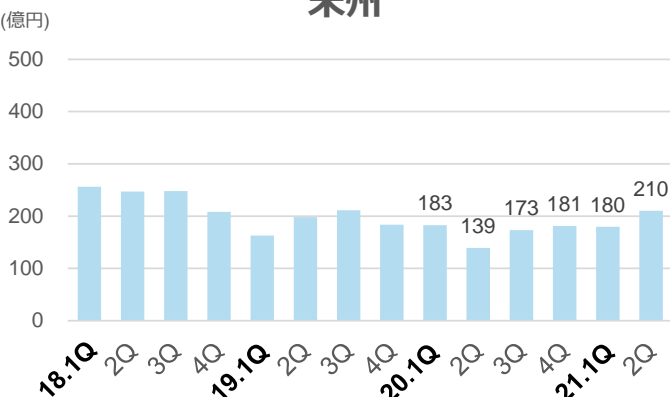
### ドイツ



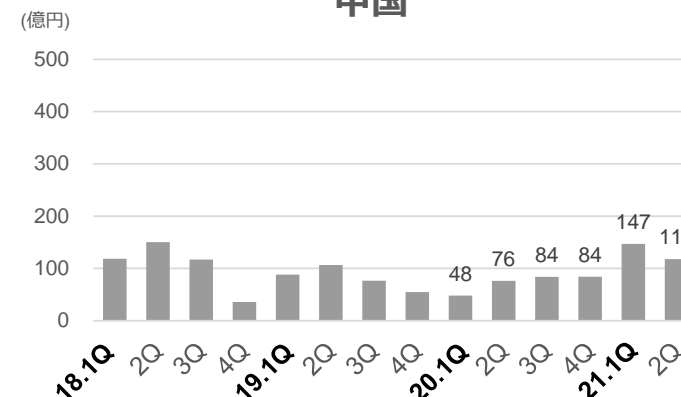
### EMEA



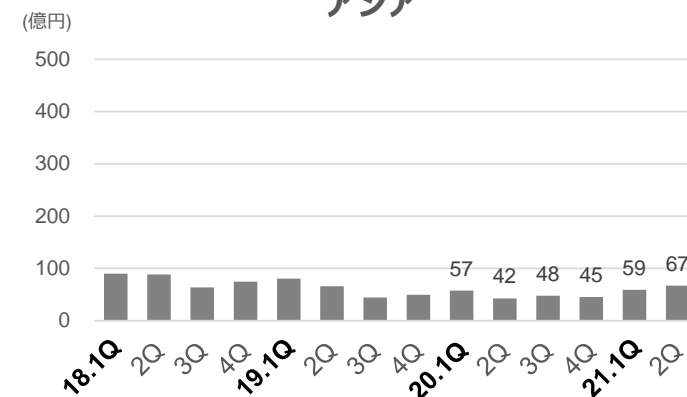
### 米州



### 中国



### アジア





# 連結受注構成 (1月-6月)

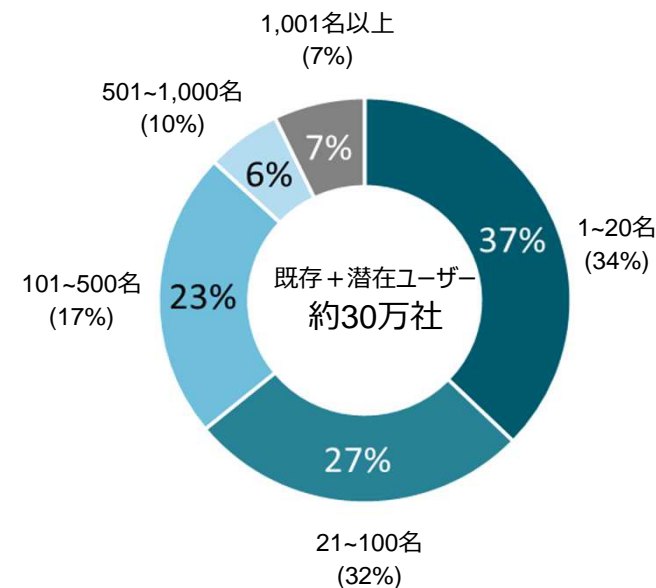
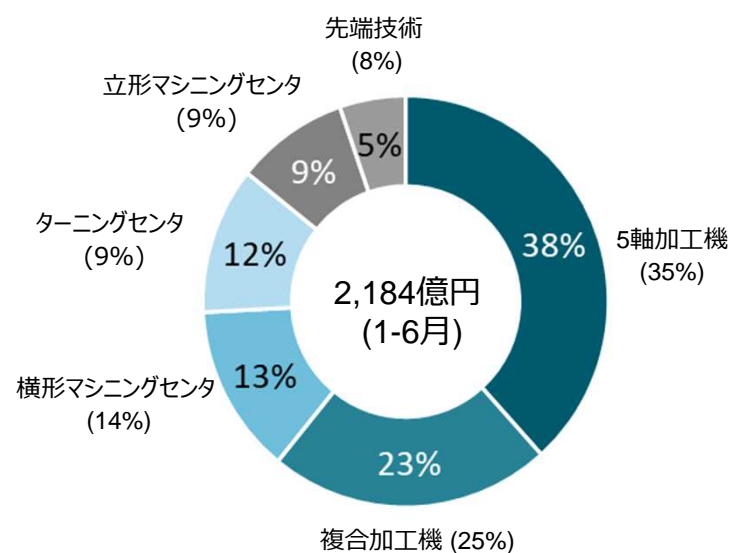
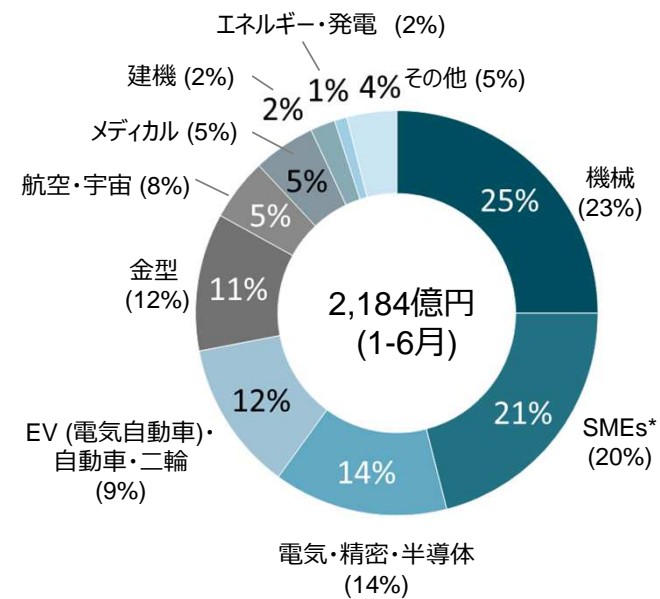
- 半導体関連、EV（電気自動車）、一般機械が受注牽引
- 5軸加工機の需要増持続

※金額ベース  
 ※カッコ内：2020年1-12月

### 業種別

### 機種別

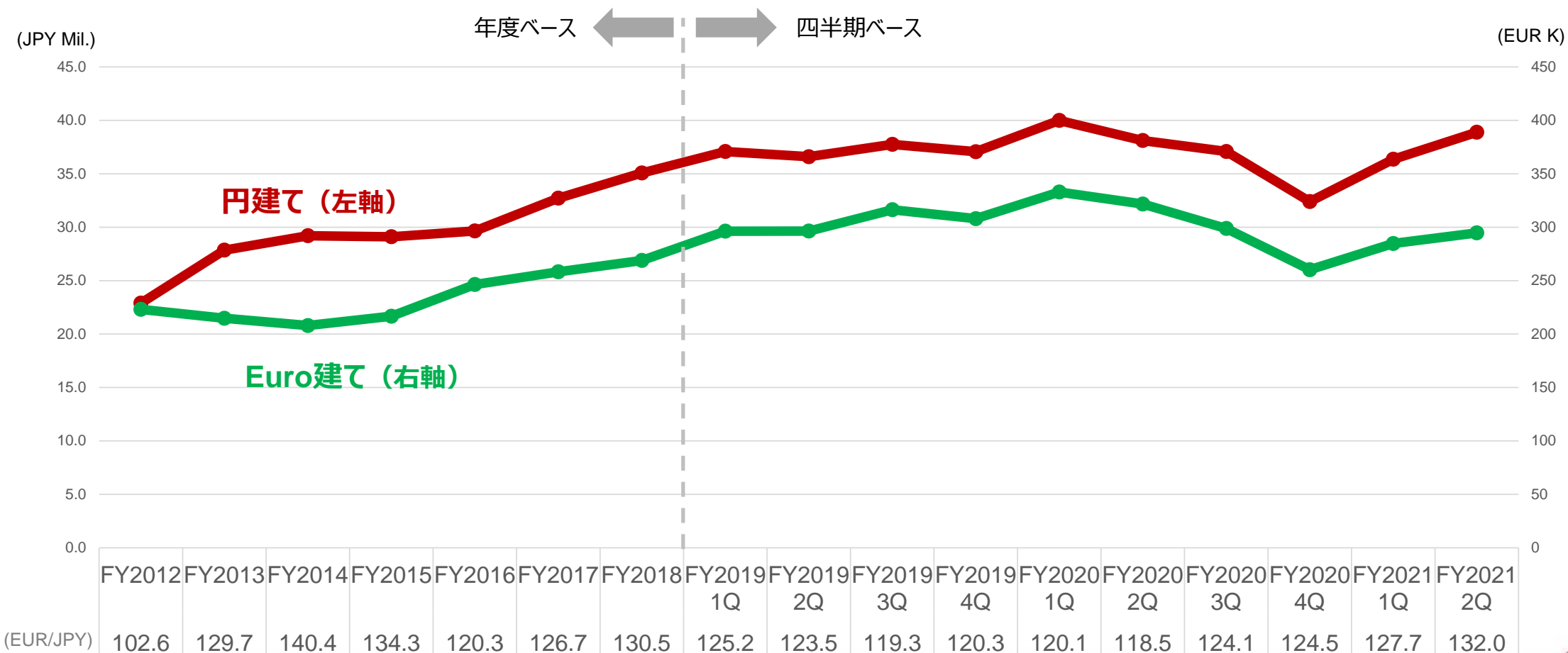
### 規模別



\*Small and medium-sized enterprises

# 1台あたりの機械受注単価推移

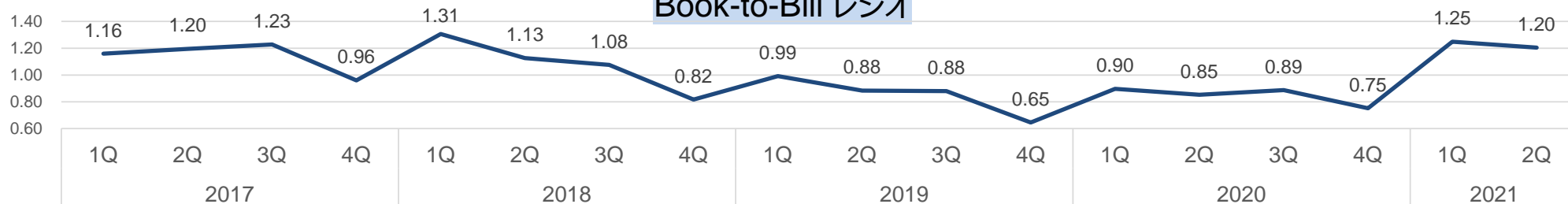
- 受注単価は2020年度第4四半期を底に上昇基調
- 5軸加工機の受注増、直販によるお客様価値提供による自動化などが寄与



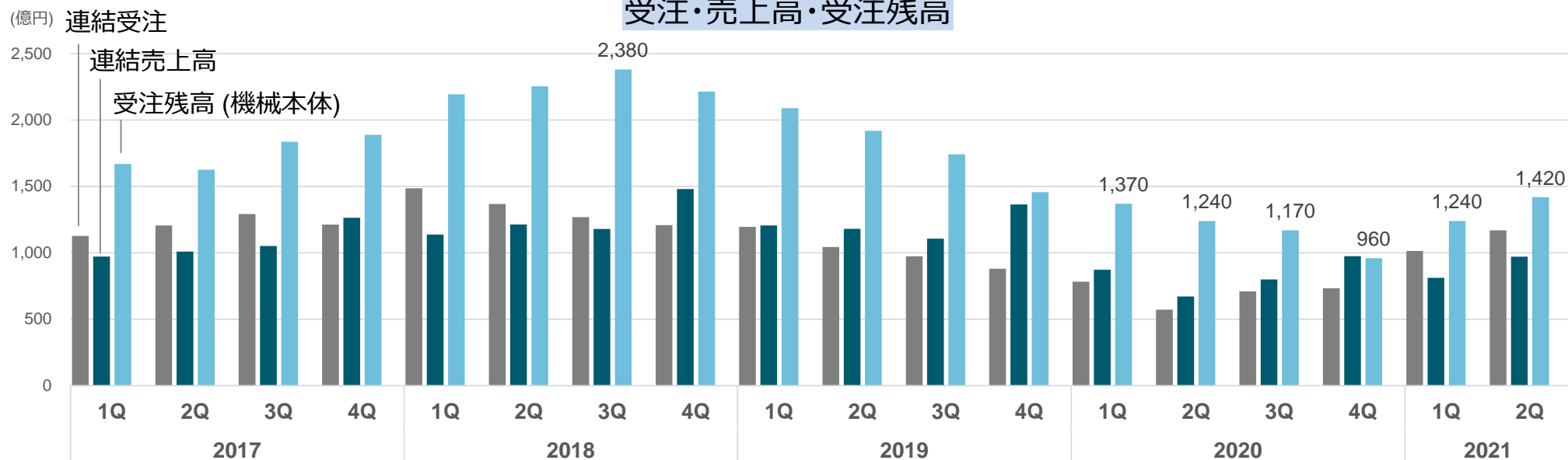
# 受注・受注残高の推移

- 工作機械本体の第2四半期末受注残高は1,420億円と前四半期末比180億円増加
- 今年度末工作機械本体の受注残高は1,500-1,600億円見込み

Book-to-Bill レシオ



受注・売上高・受注残高



## 1. 上半期(1-6月)決算概要

## 2. 事業環境

## 3. 重点施策

① 工程集約、高効率生産による環境対応需要の取込

② 自動化・ターンキー促進

③ 供給体制の強化

## 4. サステナビリティ経営の進捗

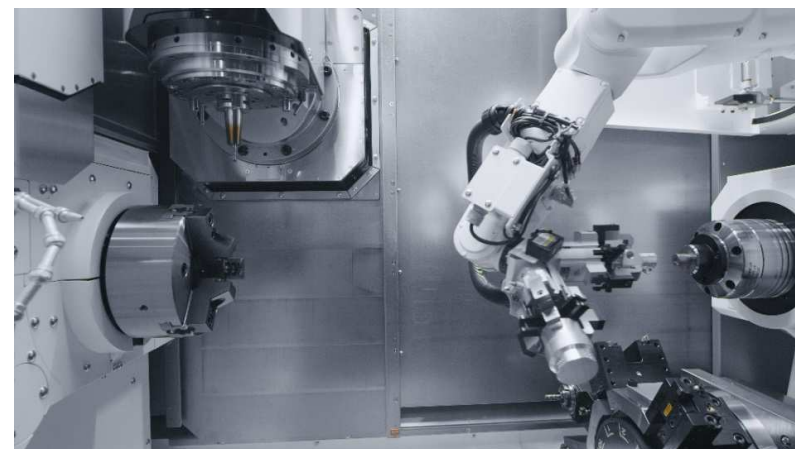
① TCFD提言への賛同表明、太陽光発電の導入

② 健康経営

# 工程集約の効果 (NTX1000 with IMTR)

**DMG MORI**

機内走行式ロボットシステムを組み合わせた工程集約に最適な機械



# グローバル14生産拠点を利用し個別商談促進

# DMG MORI

## 日本のテクノロジーフライデーをグローバル展開



フロンテン工場(ドイツ)  
PRE-EMO SHOW (9/20-9/25)



東京GHQ(日本)  
<テクノロジーフライデー>



伊賀事業所(日本)  
<テクノロジーフライデー>



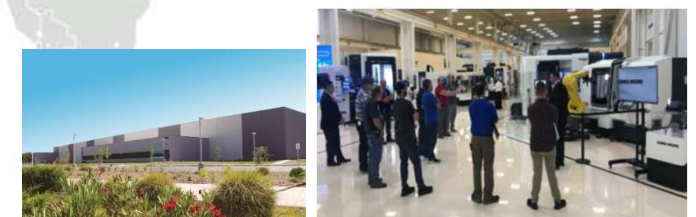
- ① フロンテン (ドイツ)[デッケルマホ]
- ② ゼーパッハ (ドイツ)[デッケルマホ]
- ③ ビーレフェルト (ドイツ)[ギルデマイスター]
- ④ シュティプスハウゼン (ドイツ)[ウルトラソニック レーザテック]
- ⑤ ベルガモ (イタリア)[ジタール]
- ⑥ トルトナ (イタリア)[グラチアーノ]
- ⑦ ウリヤノフスク (ロシア)
- ⑧ プレシェフ (ポーランド)[ファモット]
- ⑨ 天津 (中国)
- ⑩ 奈良事業所 (日本)
- ⑪ 伊賀事業所 (日本)
- ⑫ 太陽工機 (日本)
- ⑬ マグネスケール (日本)
- ⑭ デービス カリフォルニア (米国)
- ラクシュミ (インド)[提携先]



ファモット工場(ポーランド)



天津工場(中国)



デービス工場(アメリカ)

# DMG MORIコンテンツ充実（お客様の購入プロセスの変化に対応）

# DMG MORI



割り出し5軸加工事例100選



my DMG MORI上でのオンライン教育



DMG MORI YouTubeライブラリ  
最新動画700本掲載



デジタルツインテストカット

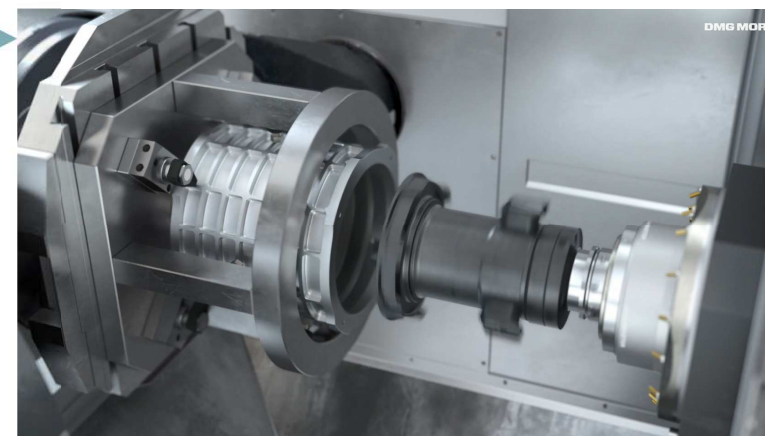
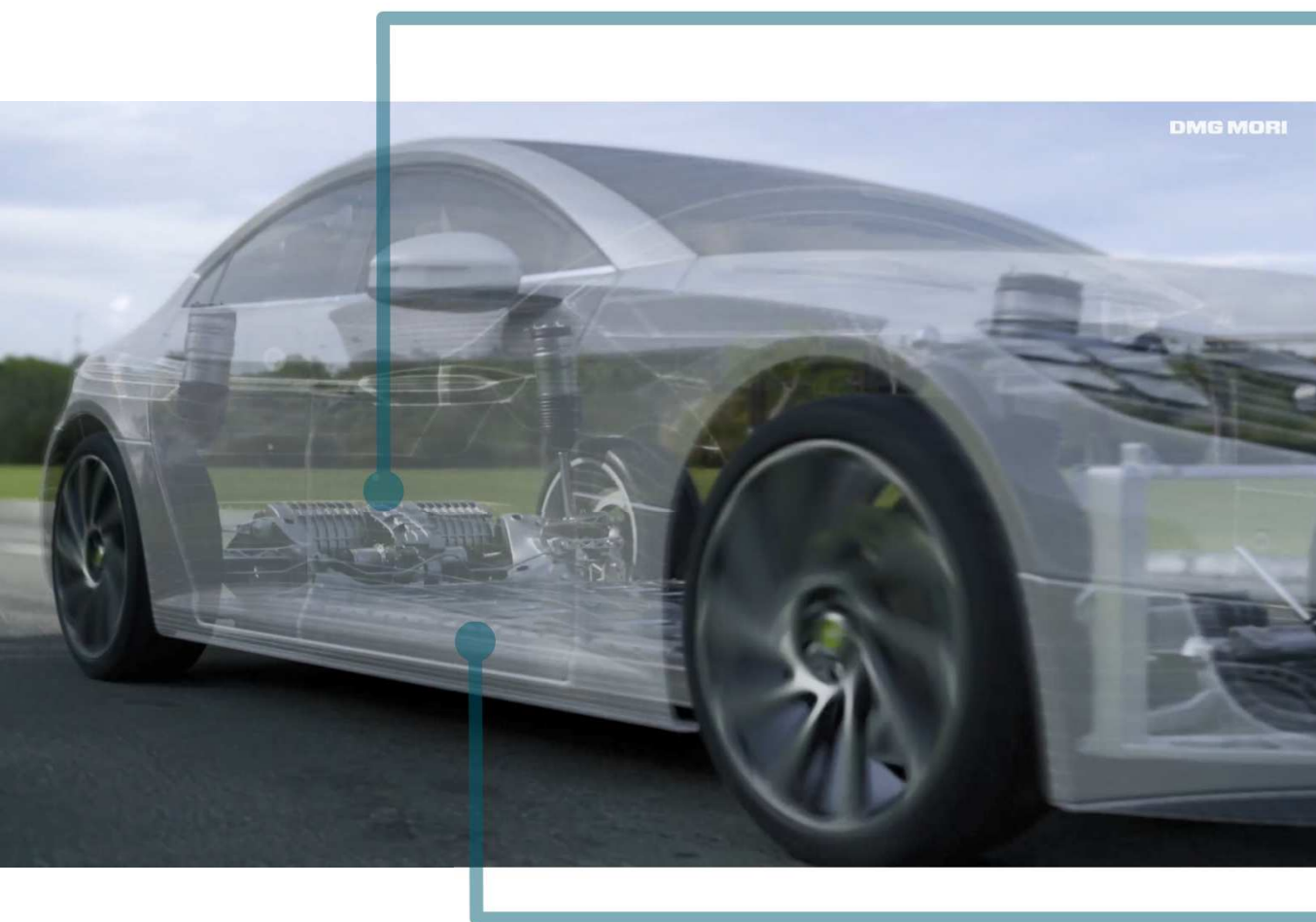


デジタルツインショールーム  
600本以上のコンテンツを展示

# 電気自動車（EV）の部品加工需要に高精度・高速な加工で対応

**DMG MORI**

動き始めた電気自動車部品加工需要



電気自動車のモータ加工

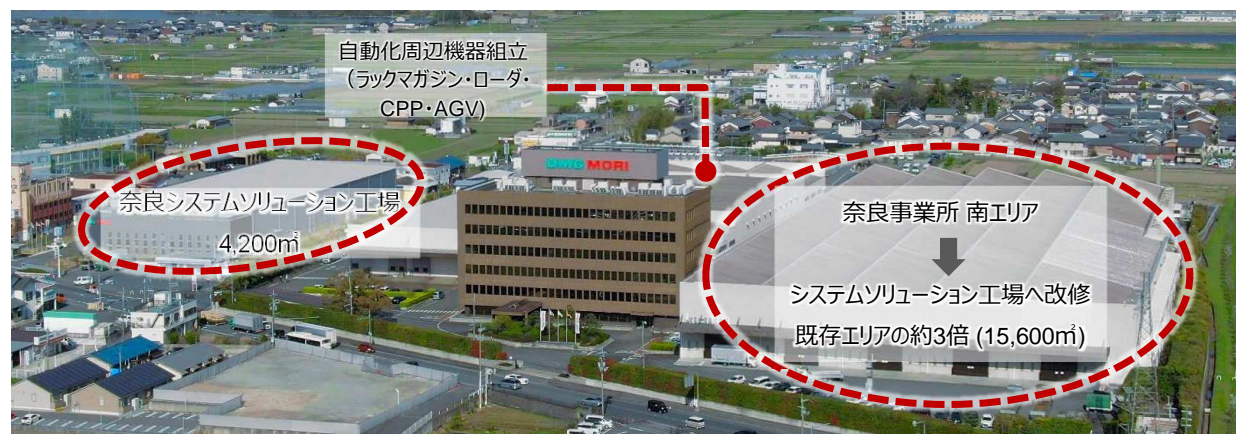


電気自動車のバッテリーケース加工



# 奈良事業所をシステムソリューション工場へ改修 (2023年)

日本（奈良）、アメリカ（デービス）、中国（天津）、ドイツ（フロンテン） にあゆる自動化ニーズにお応えする供給体制を強化



奈良事業所

## 自動化組立対応の生産拠点

<ドイツ・フロンテン工場>



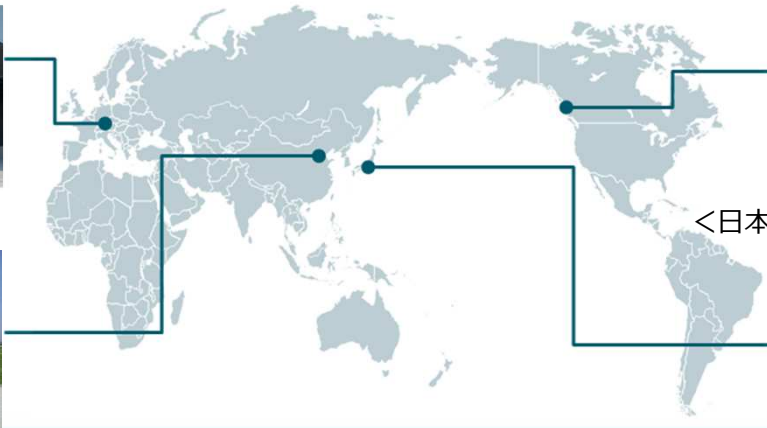
<中国・天津工場>



<北米・デービス工場>



<日本・奈良システムソリューション工場>



## エジプト(カイロ)に生産拠点 (2023年秋グランドオープン予定)

# DMG MORI

- ✔ アフリカ初の生産拠点設立をエジプト大統領との会談で決定
- ✔ AOIとファクトリーオペレーションの合併会社設立  
AOI : Arab Organization for Industrialization

### <概要>

敷地面積：約60,000㎡

生産能力：最大1,000台/年

完成時期：2023年秋グランドオープン (予定)

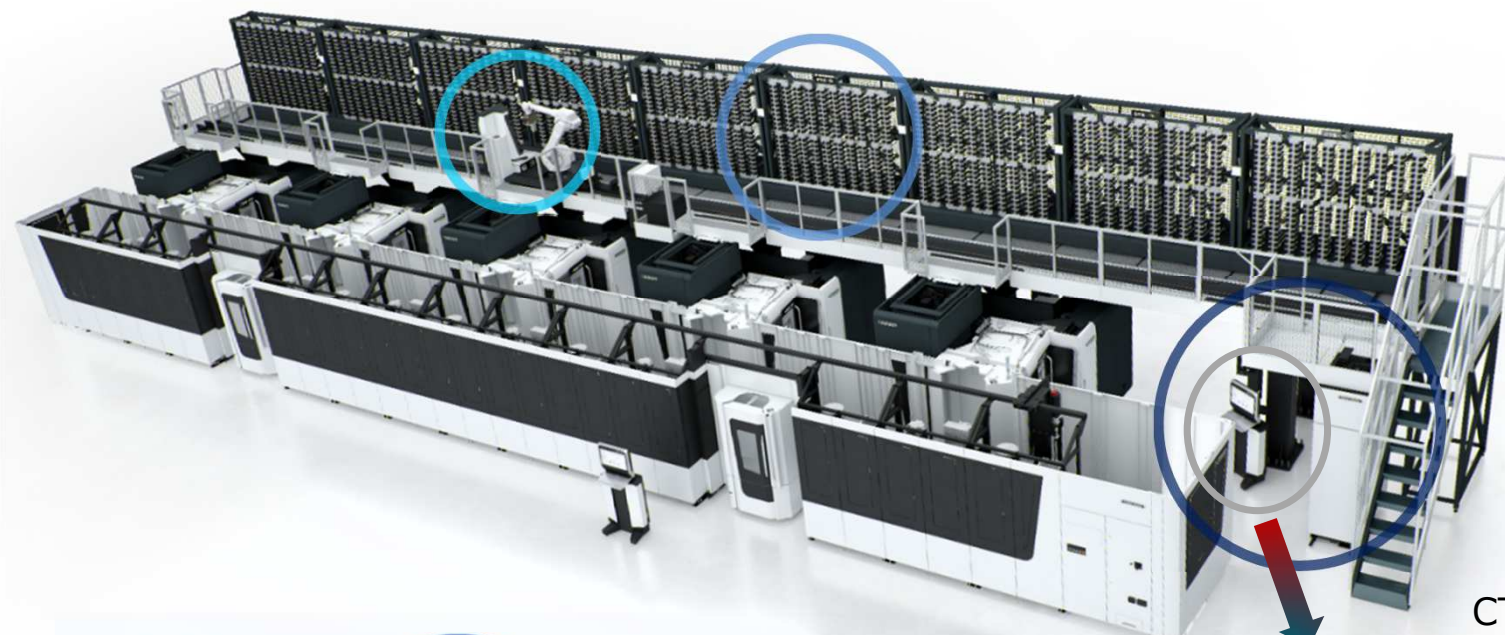
カイロ国際空港から車で約10分



By Google map

# 大容量工具マガジン CTS (セントラルツールストレージ)

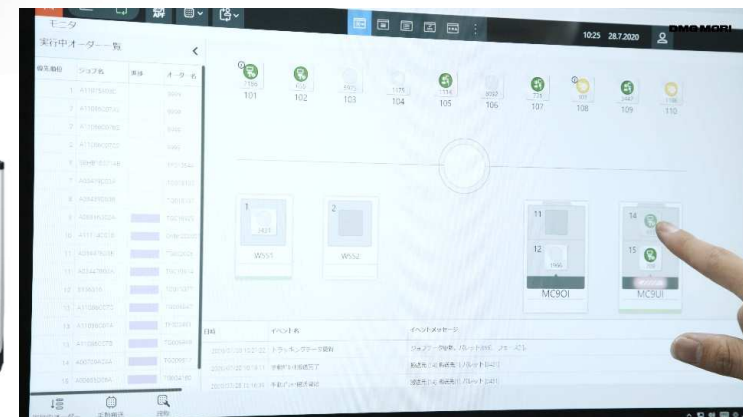
**DMG MORI**



ツールハンドリング + パレットハンドリング  
連携ソリューション



CTS操作盤とソフトウェア



# ビルトインミストコレクタ zeroFOG (ゼロフォグ)

**DMG MORI**



# LASERTEC 3000 *DED hybrid*

# DMG MORI



レーザ金属積層造形と旋削・ミーリング加工をワンチャッキングで実現する5軸複合加工機登場



➡ 米国機械学会主催AM Tech Forum（6月開催）で世界初披露

## 1. 上半期(1-6月)決算概要

## 2. 事業環境

## 3. 重点施策

- ① 工程集約、高効率生産による環境対応需要の取込
- ② 自動化・ターンキー促進
- ③ 供給体制の強化

## 4. サステナビリティ経営の進捗

- ① TCFD提言への賛同表明、太陽光発電の導入
- ② 健康経営



## 2021年 気候関連情報開示のマイルストーン

### 上半期：

- カーボンフットプリント・レポート発行/  
カーボンニュートラル達成 ✓ (3月)
- 統合報告書で気候関連情報開示 ✓ (3月)
- CDP気候変動質問書2021回答\* ✓ (5月)

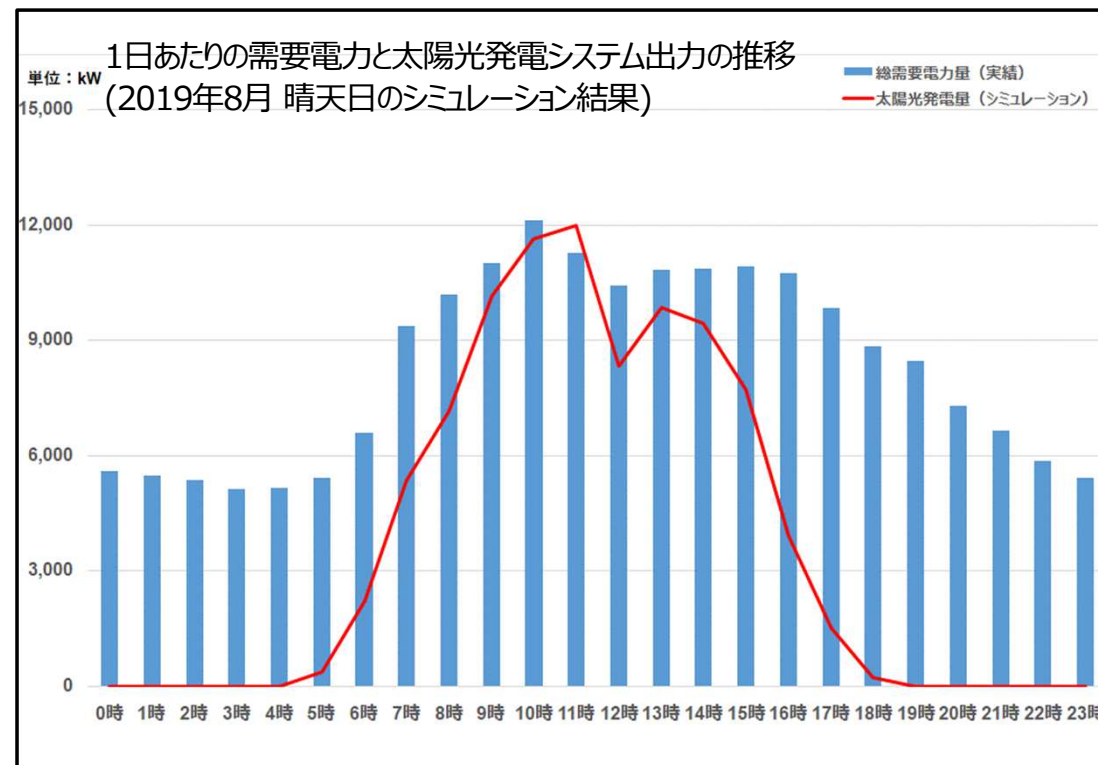
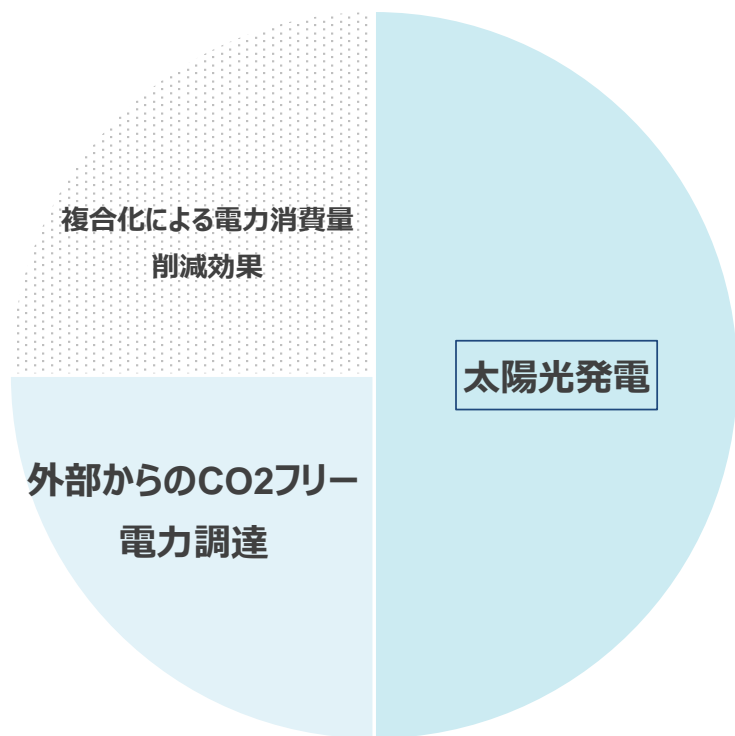
### 下半期予定：

- TCFD提言に準拠した開示公開済 ✓ (7月)
- Science Based Target認定取得 (年内)
- CDP2021評価結果 (年内)

\*水セキュリティ質問書についても回答しております。

## 温室効果ガス排出削減の取組み：太陽光発電設置計画（伊賀事業所）

- ☑ 一日の総需要電力量の最大50%を太陽光発電で充足
- ☑ CO<sub>2</sub>排出削減効果 約3,400トン/年（2019年スコープ2排出量の16% ※2021年4月より100%CO<sub>2</sub>フリー電力に切替済み）
- ☑ 完成予定：2026年



需要電力量：198千 kWh/日

太陽光発電量：109千 kWh/日

→ 太陽光発電が占める割合：50%

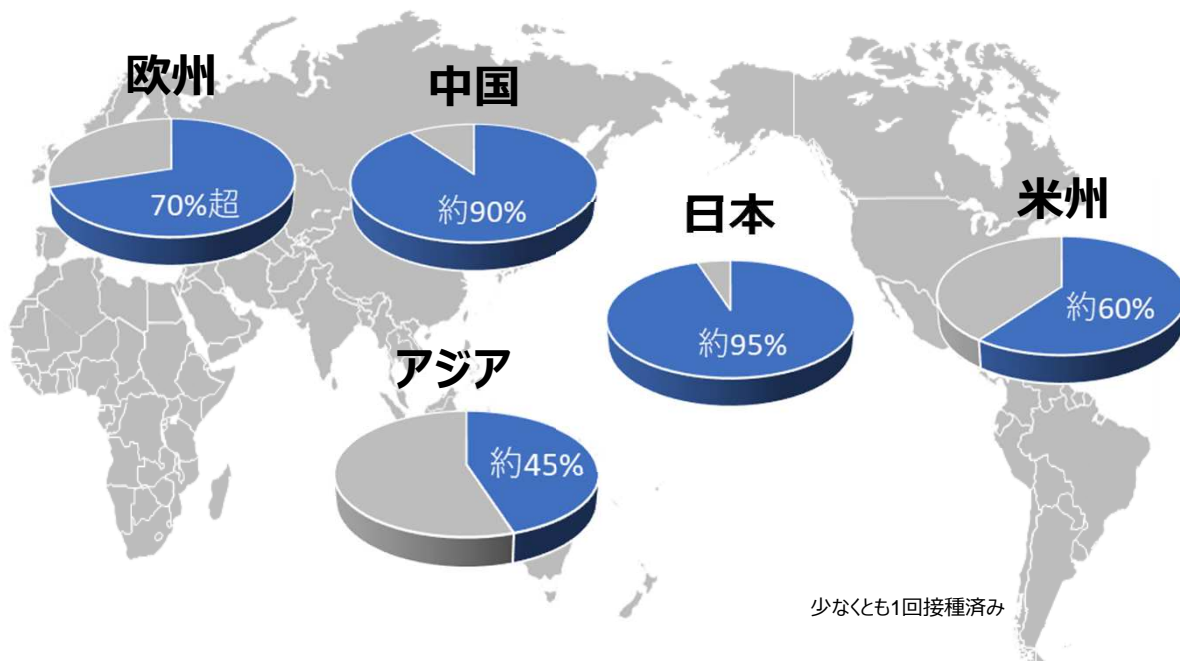


# 健康経営の取り組み

## COVID-19への対応

### DMG MORIグループ従業員 ワクチン接種率

日本: 職域接種を6月より実施 (関連企業も含め約6,000名対象)



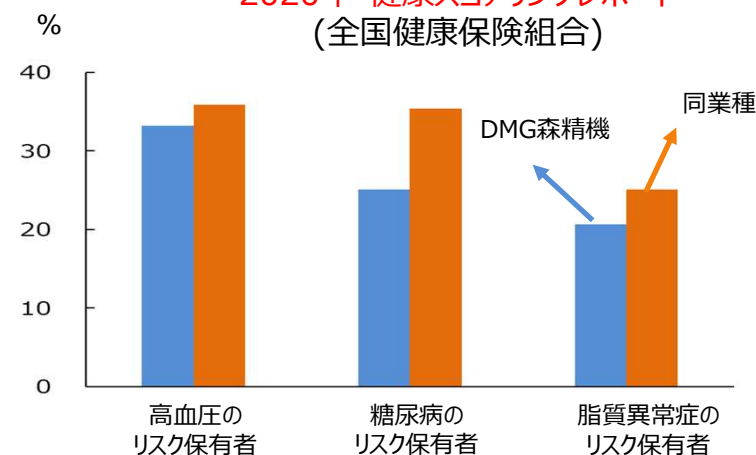
※DMG MORIグループ会社従業員への職域接種実施状況および個人からの報告に基づく

## 健康経営の取り組み

### 体系的な健康経営の推進

- 「DMG森精機 健康安全白書」を社内公表
- 今後の重点取り組み事項 (全17点) を順次実施中

2020年・健康スコアリングレポート  
(全国健康保険組合)



当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。  
これらの将来に関する記述は、  
当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。  
今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。  
なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 当グループが営業活動を行っている市場内における需要環境の変化
- 為替相場の変動
- 当グループが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当グループが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- 独禁法や輸出管理規制等関連する法規制又はその所轄当局による運用の変更